



イモムシ、その後…

6月11日(火)たんぽぽ組



4匹のイモムシの成長を観察している、たんぽぽ組。大きなイモムシ1匹は捕ってきた次の日にさなぎになり、残りの3匹も先週さなぎになりました。さなぎがいつ、ちょうちょになるのか…飼育ケースを毎日のぞいて、今か今かと待ちわびている子どもたちです。さなぎのその後をお伝えします！

6月10日(月)

1つ目がさなぎになってから、約2週間たつので、そろそろ、ちょうちょになるかな…?と、朝いつものように飼育ケースをのぞいたYさんとSくん。「せんせー！ちょうちょ死んどる…!」「これ、ちょうちょ?下に落ちとるね」と、残念そうに飼育ケースをのぞいていました。先週木曜日まで変わりなかったさなぎ。観察できなかった3日間のうちに、さなぎから羽化し、ちょうちょになったものの、死んでしまっていました。



ちょうちょ、下に落ちちゃったね…



6月11日(火)



羽化したけれど死んでしまった、ちょうちょ。
保「この、ちょうちょさん、どうしょっか。
このままで、いいかな？」
子「ダメやと思う」
保「どうすればいいと思う？」
子「お外の草の所に埋めて、こうすれば(手を合わせる)いいよ」
ということで、イモムシを見つけた農園の埋めに行くことにしました。



そっと入れてあげよう



穴を掘り、ちょうちょを埋めると、そっと土をかぶせてあげました。
保「これでオッケー？」
子「何かここに置いてあげよう」
「あっちにお花あったよ！」
と、農園にあったお花や木の实を見つけてきて、埋めた土の上に乗せると、手を合わせていました。そんな子どもの優しい姿にほっこりしました。

残り3つのさなぎ。次は、「ちょうちょになって欲しい!」「きれいなちょうちょ見たいね」という子どもの強い思いに応えようと、色々と調べてみると…。

『羽化する時に目の前に脚でつかまることのできる場所がないと、下に落ちてしまい、羽をうまく伸ばせず羽化不全になってしまう』

『さなぎになってから10日ほど経つと、色が黒っぽく変化する。中の体の模様が透けて来たら、羽化の始まりの合図』

『早朝からお昼頃まで、遅くとも午後2時くらいまでの間に羽化する』

さなぎからちょうちょになる環境を子どもたちと整えて、引き続き観察をしていきます！
次は立派なちょうちょになるかな？楽しみに、その時を待ちたいと思います。

つづく…